

大学の統合や連携によって 学生の学びはどう変わるのだろう

2022年11月4日[金] 9:00-12:30

開催方法 : Zoomウェビナー

事前申込 参加無料 対象:大学関係者 定員:500名

主催:名古屋大学 教育基盤連携本部

共催:名古屋大学 高等教育研究センター

東海国立大学機構 教育基盤統括本部(アカデミック・セントラル)

昨今、大学は教育や研究の質の向上、および人材や施設の有効活用などを通じた経営の効率化がますます強く求められています。このような背景の下で、2020年4月に東海国立大学機構が設立され、2022年4月には北海道国立大学機構や奈良国立大学機構が足りました。また近年では大学間の連携が盛んになりつつあります。新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、大学関係者がオンライン教育に馴染んだことで連携が加速したとも言われています。

これら大学間の連携には、専門教育の充実を図るものもあれば、教職課程の存続など切実な課題の解決を図るものもあります。大学間の統合や連携によって学びの選択肢が増加し、特に地方における教育課程の存続が図られることは、大学関係者、特に学生にとって歓迎すべきことと思われます。しかし、統合や連携はどこまで進み、大学での学びはどのように変わっていくのでしょうか。またオンラインを用いても、連携は地域を基盤とし続けるのでしょうか。私たちは多くの興味深い問いを抱えているように思います。

本シンポジウムは、大学間統合や連携に実際に携わる方々に現場での課題も含めての取り組みを報告いただき、知見を深める場を作ります。そしてこのような報告を基に、大学教育の将来ビジョンにつながるような、大学間の統合や連携の在り方を参加者のみなさんと一緒に考えていければと思います。

講師 小林 信一(こばやし・しんいち)

広島大学 副学長

清水 一彦(しみず・かずひこ)

山梨大学 理事・副学長

濱名 篤(はまな・あつし)

関西国際大学 理事長・学長

砂田 茂(すなだ・しげる)

名古屋大学 大学院工学研究科附属フライト総合工学教育研究センター長

モデレーター

名古屋大学 教育基盤連携本部 高等教育システム開発部門 准教授 丸山 和昭

名古屋大学 教育基盤連携本部 高等教育システム開発部門 准教授 安部 有紀子

申込方法 下記リンクよりご登録ください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_XkViHIRQQ0661jDZXITkLQ

なお、接続人数は最大500名(先着順)となっております。

お問合せ 名古屋大学教育基盤連携本部高等教育システム開発部門

TEL:052-789-2161(平日9時-17時) メール:nuqa@adm.nagoya-u.ac.jp

プログラム

9:00

趣旨説明

名古屋大学 教育基盤連携本部
高等教育システム開発部門 教授

加藤 真紀

9:05

主催者挨拶

名古屋大学 副総長・教育基盤連携本部長

藤巻 朗

9:25-10:05 講演(総論)

「大学間統合・連携の可能性と困難」

広島大学 副学長 小林 信一

10:10-11:40 講演

「大学等連携推進法人における教養系連携開講
科目の実践と課題

—大学アライアンスやまなしの事例を中心に—

山梨大学 理事・副学長 清水 一彦

「新しい時代における大学の連携・協働」

関西国際大学 理事長・学長 濱名 篤

「名古屋大学・岐阜大学における航空工学に関する
連携教育の実践

～航空機の設計から製造、飛行実証・評価までの
一連プロセスを実体験できるカリキュラム～

名古屋大学 大学院工学研究科
附属フライト総合工学教育研究センター長
砂田 茂

11:45-12:25

全体討論

12:25

閉会挨拶

名古屋大学 教育基盤連携本部
高等教育システム開発部門長

北 栄輔

※プログラムの内容等は、諸般の事情により
変更となることがありますので、ご了承ください。